

単元名 8 自分を見つめる 一言葉3 さまざまな表現技法

配当時間 2時間

単元の目標 (1) 様々な表現技法を理解し、その効果を読み味わい、また、生活の中で表現する力を養うことができる。
(3) 様々な表現技法について関心を持ち、具体的な例を通じて読み味わう力や表現力を付けようとする。

標準的な展開例

10210306_001

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 様々な表現技法の特徴とその効果を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習の目標を確認し、学習の見通しをもつ。 ★表現技法の種類や特徴を知ろう。 ○「二つの文」(p. 224)を題材に、表現の工夫について考え、発表する。 ○表現の工夫の意味を確認する。 ○教科書に示された表現技法を確認する。 ○「言葉の並べ方の工夫」(p. 224)を理解する。 ○「比喻」(p. 225)を理解する。 ○様々な表現の工夫を復習する。 ○次時に向けて、表現技法が使われているものを探してこる。 <p>2 様々な表現技法の工夫を自分の表現に生かす。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○様々な表現技法を復習する。 ○自分が見つけた表現技法を発表する。 ○本時の学習課題をつかむ。 ★さまざまな表現技法を、自分の表現に生かそう。 ○「生活に生かす」(p. 226)を読む。 ○比喻を用いて、身近な人物を紹介する。 ○人物紹介文を互いに読み合い感想を書く。 ○学習のまとめをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習プリント等を活用するとよい。 ・同じ状況を述べた文であることを確認し、文の表現や印象の違いについて考えさせる。 ・表現の工夫の意味や効果、最終的な学習のねらいである「自らの表現力を高め、生かしていくこと」を確認する。 ・大きく分類すると「言葉の並べ方の工夫」と「比喻(たとえ)」があることを確認する。 ・取り上げられている表現技法をカードにして黒板に示すと、より印象に残る。 <p>【評】様々な表現技法を理解する活動を通して「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・詩や短歌、文学作品だけでなく、日常生活の中で使われている表現技法を探させる。 ・前時に取り上げた表現技法について、その特徴や効果を中心に復習する。 ・全員に発表させることで、他の作品例や身近な例を共有できる機会としたい。 <ul style="list-style-type: none"> ・具体例を通して、自分なりの比喻を考えることの大切さを確認し、次の活動につなげる。 ・「身近な人物を紹介する」という題材で、比喻を自分の表現の工夫に活用させる。 <p>【評】人物の紹介を比喻を用いて書く活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・互いに人物紹介文を読み合うことで、仲間の文章から表現の工夫を学ばせる。 ・詩や短歌、文学作品などを読んで理解する際に表現技法を意識することに加え、自分の表現の工夫にも、積極的に生かすように指導する。

【 備 考 】

表現に込められた書き手などの思いやものの見方を理解することは、大事なことである。表現の工夫とは、単なる飾りではない。表現を工夫することによって、いつそう的確に描き出せたり、より効果的に伝わるようになったりした書き手や話し手の思いやものの見方などから、表現効果なども踏まえながら自分の考えをもてるようにさせたい。

また、「少年の日の思い出」は、ものの見方、感じ方、生き方の違いについて、じっくり考えさせたい作品である。これは道徳のC- (11) 正義、公正・公平にあたり、これを機会に差別や偏見のないものの見方をしようとする気持ちを高めたい。